

令和6年度 第1回 真室川町総合教育会議 会議録

令和6年10月30日(火)午前9時30分より、真室川町役場3階301会議室において令和6年度第1回真室川町総合教育会議を開催した。

1. 出席者

町長	新田 隆治
教育長	門脇 昭
委員	遠田 且子
委員	鮎延三枝子
委員	中塚 聖子
委員	高橋 亜理紗

2. 事務局出席者

教育課長	高橋 雅之
指導主幹	長倉 守
学校教育係	
課長補佐	阿部 一彦
生涯学習係	
課長補佐	佐藤 正美
子育て支援係	
課長補佐	栗田 猛
課長補佐	須田 綾子

3. 報告

4. 協議・調整事項

町長 教育関係費について、保護者負担の軽減に努めてきました。財政的な目途がつき、実施した部分もあります。保護者負担を軽減した分、家庭ではどのように子育てにお金をかけているかを聞きたいと思っています。まずは、事務局から説明をお願いします。

(資料についての説明)

資料の内容、または日ごろから考えていることでも結構ですので、ご意見をお願いします。まずは保育所の主食を持参している状況ですが、どのようにお考えですか。

高橋委員 子どもが3人いますが、食べる量がそれぞれ異なります。実際に保育所で炊いて食べる量が異なり、余ることを考えると、家庭から持つて行った方が無駄にはならないと思います。

中塚委員 どういった理由から主食のみ持ち込みとなっているのでしょうか。

- 町長 今話した食べる量が異なるというのが主な理由だと思います。
- 成長に応じて食べる量が違うので、自分の子供が食べられる量だけ持たせるという考え方からきているのだと思います。
- 中塚委員 資料を見ると、主食も出してほしいというアンケート結果もあるようですが、私はご飯をお弁当に詰めるのはそんなに負担ではありませんでした。子どもの食べる量に応じて持たせる方がいいと思います。
- 遠田委員 保育所、こども園で主食にするのは、ご飯でなければならないのでしょうか。例えば朝食はパン食で、お弁当のためにご飯を炊くのが面倒だという家庭もあるかもしれません。
- 高橋委員 献立によって、主食がうどん、パンだったりすることもあります。その時はご飯を持たせなくても良いことになっていました。園で提供していただいている。
- 遠田委員 必ずしも持たせるためのご飯を炊かなくてもいいということですね。
- 高橋委員 基本はご飯なのかもしれないですが、以前保育所であったケースで、家庭で炊き込みご飯を作った場合でも、それを持たせてもいいですよと言われていました。それを見たからと言って、子どもたちが羨ましがるようなことはないから大丈夫だと先生に言っていただきました。
- 遠田委員 衛生上の問題があるという理由ではないですね。
- 教育長 様々な家庭があるので、食べた量を見たいという家庭もあれば、そこまで手が回らない家庭もあります。弁当の洗い忘れ等により園側で用意したというケースも聞いています。夏場冬場のご飯の保管、衛生面の課題もありますが、様々な意見があるので、総合的に考える必要があります。
- 町長 子どもの状況や残食の問題もあります。以前は養豚している畜産者で飼料として引き受けてもらっていましたが、今は受け入れ先がありません。今まま様子を見るのがいいのではないかと思います。
- 長倉主幹 給食がセンター化しているところでは、残食があるとセンターに戻すようになっています。
- 町長 昨年度おいしいふるさと給食に行った際に、おいしいとは言っていましたが、量が食べられないのか残している子もいました。ごはんやおかずの量は調整してもらっていると思うので、しかたがない部分もあると思います。
- 鮭延委員 なぜわざわざ家からご飯をもっていくのか、最初は違和感がありました。園で子どもがおかわりと言ったことがあり、それから多く入れるようになったこともあります。
- 町長 園でもなぜ持ってくるかの部分を入園の際に説明しているとは思います。
- 遠田委員 結局はそれぞれの施設でご飯も提供して、家からは持つて行かない方

がいいという意見に聞こえます。量の調整も先生方がすることになると思うので、食についての指導や、人手のことなど、すぐには難しいですが、子どもたちの食に関して保護者へお知らせする機会はあると思います。

町長 3歳未満と以上で分かれるので、それがなぜなのか、現場に聞いてみる必要があると思います。

栗田補佐 先ほど話にあった食べる量や、栄養バランスの関係だと思います。

教育長 町長が言ったように実際の保育士さんの声を聴いてみるといいと思います。先ほど一部の意見を述べましたが、保育士さんから心配だという声があれば、踏み込んで考えなければならない問題だと思います。

鮎延委員 最近は夏場の気温が高く、園内はエアコンが効いていているとは思いますが、家から持って行ったご飯の保管がやはり心配です。

教育長 朝炊いたご飯ならいいが、前日に炊いたご飯ということもあると思います。そういったことも含めて、実態を確認したいと思います。

町長 給食費がぎりぎりにならないよう、食材の単価も含めて確認してください。

次に学童について、現在社会福祉協議会に委託しておりますが、アンケートを見ると、人によって指導方法が異なる実態があるようです。

当初は家で見る人がいないから預けるというような考え方から福祉分野で始まったと思いますが、個人的には学童保育も教育部門で行うべきだと考えています。委託をすると直接のやり取りがなくなるので、現場が見えにくくなるという点があります。この状況を改善しながら、子どもが放課後楽しく過ごせる環境を作っていくたいと考えています。予算面の問題もあり、まだシミュレーションはしていませんが、皆さのご意見も伺いたいと思います。

高橋委員 預けたことがないので、資料のアンケート結果を見ると、どういう状況なのか実態が分かりません。

町長 専門職ではないので、人によってやり方が違うという場合はあると思います。一度時間を作って、庄内町等に見学に行くなどはいかがでしょうか。

栗田補佐 今年度7月、8月に行く予定でしたが、大雨でキャンセルになった経過があります。

町長 その際に教育委員も一緒に行くといいのではないでしょうか。再調整し、都合をつけて参加いただければと思います。

教育長 学童にも、興味に応じた学びができるような、教育的な側面が求められている時代だと思います。そのためには、身分保障をしないと、いい人材が集まって来ないと考えています。

中井先生が山形大学附属小の学童クラブを運営していますが、県費負

担教職員と同等の給料形態なのでいい人材が集まると言っていました。様々なことをするにはお金がかかり、NPOでしているところもあるが、ここではそれが難しいと考えています。

町長 真室川町では直営にせざるを得ない状況です。一つの政策として、今後真室川に合った学童のあり方、方針を考えていく必要があると思います。

次の話題に移ります。小中学校の経費負担の話で、ウエイトが高いのはランドセルです。中学校の通学カバンは8,300円ということなので、同じようなものにしていくという考え方もあるのかなと思います。ただ、祖父母が買う機会がなくなるという声もあります。持っていくものが多く、ランドセル自体が重くなり、学校に置きっぱなしのものがあつてもいいのかなと思っています。

遠田委員 見直すべきところだと思います。保護者の経費負担を軽減してほしいという声もありますが、ランドセルは削っていいところではないかと思います。荷物の多さについて、本当に持ち帰りが必要なものかどうか検討する必要があります。家で勉強するために持つて帰る程度でいいのではないかと思います。ランドセルも高価なものは必要ないと思います。経費負担の面で、入学時に購入が必要な学習用具は、あとはどんなものがありますか。

資料の5ページに記載があります。

算数セットは個人持ちではなく、学校備品としての取り扱いでいいのではないかでしょうか。昔は遊び道具や工作道具が家になく、持つても使えるという考え方から買って持たせていたかもしれません、今はそういう時代ではありません。学校で使うものは、学校に置いておいて、消耗品や備品と同じような扱いにできるものが含まれていると思います。そういう根本の部分の見直しを行うと、減らせるのではないかでしょうか。

ネームは必要でしょうか。先生たちは子どもの名前を憶えています。

以前は通学時の声掛けを防止するため、ネームを外すこともありました。

水筒も重いです。

熱中症対策として、歩く子どもについては登下校時のこともあるので持たせたという経緯だと思います。あとはタブレットを持ち帰つて学習してほしいという方針もあります。校長会で話題にし、荷物の持ち帰りについて不必要なところの見直しをしていく必要があると考えています。

教科書も重いです。毎日復習するわけではないと思うので、本当に必要なものだけ持ち帰るようすれば軽くなると思います。

遠田委員

町長

教育長

町長

遠田委員

阿部補佐

遠田委員

鮎延委員

遠田委員

町長

教育長

長倉主幹　　国語、算数は持ち帰り、他の教科は置いたままの学校もあったと思います。

遠田委員　　タブレットは毎日持ち帰らなければならないものでしょうか。
教育長　　なるべく活用するように指導しています。

遠田委員　　これまで担当者が前年度までの資料を引き継いで、必要なところを直してここまで来ているのだと思います。その際に、本当に必要なものだけにするという意識がなければ改善されないと思います。そのため、こういった保護者の声の実態を伝え、個人持ちでなければ対応できないものなのかといったところの検討も含め、基本的なところから見直しをしてくださいといった声掛けが必要だと思います。

町長　　ランドセルの話も含め、見直しが必要かと思います。昔は歩かせた方がいいという意見があり、現在は危険防止という観点からスクールバスを運行しております。荷物の重さについても、子どもの負担を減らすということが必要かと思います。

学校教育もさることながら、生涯学習面で、スポーツ振興などで何か意見はありますか。社会体育施設について、施設を使わないと存在価値がないので、ある程度のルールはあるが、使うハードルを下げて、どんどん使ってもらいたい。メンテナンスの頻度が少ないという声もあるので、大会前にしっかり手入れするなどの対応が必要だと思っています。また、若い人の新規加入が少ない現状があります。スポーツ協会に入らなくても楽しめるような仕組みが必要ではないかと思います。属していない方々も楽しめる方法を考えていく必要があると考えます。

遠田委員　　行政が提供するのではなく、町民主体で集まって交流する意識を持って活動していくことが必要かと思います。声をかけてグループを作っていくかないと、高齢の人たちは活動しにくい状況にあります。ただ、そういったグループが出てきたら引き上げてもらうような手助けを行政にお願いしたいと思います。また、保護者からのニーズ調査では、子どもと手軽に出かける場所が欲しいという意見がありましたが、子どもが帰ってきてから気軽に集まれる場所がないと感じています。最近、近所で使っていない空き地でボール遊びをしている親子がいました。最初は1組だけでしたが、地区の行事等でつながりができたのか、そのうち増えて一緒に遊んでいる様子が見られるようになりました。そういったことから、子育て支援の付近にちょっと集まって遊べる場所があるといいと思っています。そこに高齢者が散歩してちょっとお話するとか、ゆとりのある場所があるといいと思います。

遠出しなくとも、近所にそういった空き地があるといいですが、空き地があっても、つながりがないと集まりません。子ども会がきっかけとか、集まった際の声掛けがきっかけとか、何かのきっかけで繋がりがで

きるといいと思います。

町長 昔は物がないので、子どもたちで工夫して遊んでいました。子どもの遊びのアイデアを出してくれる人もいるといいと感じます。

遠田委員 話が少し変わりますが、保護者について、様々な補助や保育に関しても時間の延長など、行政に求められている部分は大きくなっています。大人の仕事時間が多すぎて、子どもとの時間が取れない部分があると思います。具体的に何をすればいいのかはわかりませんが、企業も協力して保護者の労働環境を見直して、家族と触れ合う時間が増えればいいと思います。

町長 ワークライフバランスの問題です。労働時間が法律で定められましたが、代わりに働く人がいない実態があります。そういう部分でアンバランスになってきていると考えています。

最後に、おいしいふるさと給食は私も頂いたことがあります、教育委員の皆さんには、是非おいしいふるさと給食以外の普通の給食も食べていただきたいと思います。給食の補助を始めたのは、北部小の普通給食を食べに行って、当時の校長先生から、以前はデザートがついていたが小さな果物しか出せないという意見をいただいたのがきっかけです。保護者の方にも食べて頂く機会を設けています。今の子どもは臆せず気軽に話しかけてくれますので是非学校か保育所の様子をご覧いただきたいと思います。

教育課長 以上で閉会します。ありがとうございました。